



夢中でスナックバインを味わういわき市の子どもたち。3日、沖縄市胡屋のみどり学童クラブ

## 福島の子13人 夏休み満喫

読んで広がる NIE

【中部】東日本大震災で被災した福島県いわき市から13

人の子どもたちが2日、来県し県内の子どもたちとの交流を楽しんでいる。3日、沖縄市

胡屋のみどり学童クラブで開か

### 中部児童と交流も

れた歓迎会では、沖縄料理を口いっぱいにはおぼる姿が見られた。6日まで滞在予定。

事業は、被災地の子どもたち

ちに沖縄の海などを楽しんでもらうほか、県内児童との交流を図ろうと、沖縄市とつるま市の子育て・学童関係者で構成す

るNPO「こどもの島プロジェクト」が企画した。3日昼には、沖縄市内の学童クラブの見学約70人と一緒に海遊びを楽しんだ。

初めて沖縄を訪れたという高崎奏斗君(8)は「福島ではあまり外で遊べないから、海や公園で遊ぶのが楽しかった」とにっこり。保護者として引率する大川弘恵さん(37)は「子どもたちの顔が生き生きしている」と目を細めた。

実行委員長の鈴木友一郎さん(45)は「困った時はお互いさま。これからも顔の見える支援を続けていきたい」と語った。